

人生を変えた有機農業とつなげるバトン



一般社団法人 次代の農と食をつくる会

代表理事 千葉康伸

自己紹介

・ 出身地 神奈川県横浜市出身

・ 生年月日 1977年生まれ 45歳

経歴 大学卒業後、金融系の会社で社内SEを業とする

30歳でサラリーマンを辞めて農業の世界へ

2008年 2年間高知県にて研修(土佐自然塾・山下農園)

2010年 神奈川県愛川町にて新規就農

2013年 NPO法人有機農業参入促進協議会理事就任

2016年 アグリイノベーション大学校 専任講師

2018年 一般社団法人 次代の農と食をつくる会 代表

農林水産省 食料・農業・農村政策審議会 果樹・有機部会 臨時委員

2019年 市立 丹波農の学校 特別顧問

2020年 さがみサステイナブルコミュニティ 代表

2021年 NPO法人有機農業参入促進協議会 代表

農林水産省 地球環境小委員会 専門委員

神奈川県農業経営士 認定

日本オーガニック会議 執行部

2022年 株式会社 農楽 設立

2つの情報提供

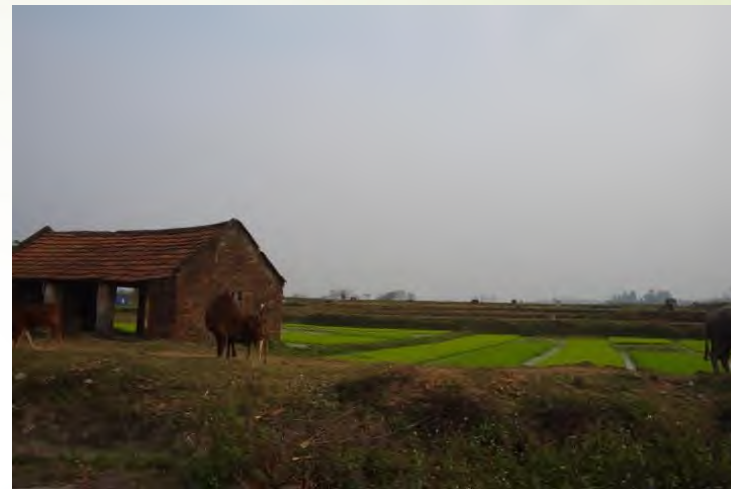
1. 脱サラし、農業を選択した動機
有機農業を実践して感じたこと
現場で出来る担い手育成の現実
2. 生産だけでなく、普及啓発まで
手がける意味。
次代の農と食をつくる会やそれ以外
の活動で見えた情報提供

2つの情報提供

1. 脱サラし、農業を選択した動機
有機農業を実践して感じたこと
現場で出来る担い手育成の現実
2. 生産だけでなく、普及啓発まで
手がける意味。
次代の農と食をつくる会やそれ以外
の活動で見えた情報提供

有機農業に参加するきっかけ

Q. なぜ農業をやろうと思ったのか？



Q. なぜ有機？



有機農業に参入するきっかけ

- 東南アジアに旅行を重ねて感じた農ある暮らしの素晴らしさ
- 人に喜んでもらえる職業
- 消費者であったときに価格での優位性を感じた事
- 種を蒔き、人の口に入るまで関わる事が出来る尊さ

影響を与えた人



山下 一穂

農業

- ・ 失われた五感を取り戻すためとにかく畑に足を運べ
- ・ 農業は常に実践的に得たものが答えで、それを重ねていく

人生観

- ・ 常に客観的に自分を見つめる
- ・ 人のせいにせず常に自己責任で物事を判断する
- ・ 自分のすべてをさらけ出し、人に受け入れてもらおう
- ・ プラス思考を心掛け、前を向いて次へ行く
- ・ 一歩先を想像し今できることを全力で取り組む
- ・ 人の特徴は個性で尊重するもので良い所を見出す（伸ばす）努力

とにかく人が好きで愛に溢れる人であった

彼の話の一言一言が今の私の人生の原動力

彼の理想としていた社会の構築が私の夢

人と人が認め合い、幸せを分かち合い、繋いでいく社会

有機農業を実践して

Q 何を意識しているか



Q こだわり



ライフワーク

社会貢献・自己実現

有機農業を広げる、社会への自分の役割

1. 現場から担い手を実際に増やしていく

2013年から研修生を受け入れ開始。

2015年愛川町にて1ha借りて新規就農

2022年研修生は6人、新規就農は15人

2. 国と連携して有機農業を普及させる

有機農業参入促進協議会 代表理事

次代の農と食をつくる会 代表理事

農林水産省 地球環境小委員会 専門委員

日本オーガニック会議 執行部

3. 仲間と連携し担い手を増やす

アグリイノベーション大学校 専任講師

市立 丹波農の学校 特別顧問

さがみサステイナブルコミュニティ 代表

研修時代

土佐自然塾での研修（1年間）

研修を1年間して、技術を学び、栽培計画を立て、就農地を決めていく







一穂さんからの一言

「来年うち来んか？お前に来年のうちの畑のマネージメントを任せたい」

どうしよう・・・。

一年でやりきるつもりだったのに・・・。

やり残したこと？

それもよくわからない。

長い農業人生、もう後戻りはできない。

ならばたかが一年くらいもう少し自分に投資しよう。

山下農園での研修（2年目）



いざ就農へ向けて
の準備

まず3年目で500万売り上げる！
それには具体的なビジョンと計画が必須！

- ・ **畑は1ha以上は必要。（反収50万円）**

山下農園でしっかり出来て反収100万円
未熟な技術と新規の畑ではその半分の計算で反収50万円
500万円売り上げるには1haは必要！

- ・ **山下農園にできて僕にできないこと**

圧倒的な経験値の差と知識量→自分の労働量でカバーする
労働力(人数)の差→機械化と効率化でカバーする
信頼関係からなる売り先→高品質なもののみ出荷する

就農先候補をいくつか訪問し 最終的に神奈川県愛川町に決定

神奈川県では新規就農者に1 h a以上の農地を貸した実績がなく、裏付けが必要。

- ・ 土佐自然塾、山下農園の推薦書
- ・ 高知県の推薦書
- ・ きめ細かい営農計画書
- ・ 農業委員会にてプレゼンテーション

1. 4 h aの農地を斡旋していただき無事就農

1年目

無我夢中に作付け

春 80a

じゃがいも、里芋、サツマイモ、枝豆、落花生、トウモロコシ、きゅうり、インゲン、トマト、オクラ、ナス、ピーマン、ズッキーニ、ゴボウ、ネギ、人参、大根、空心菜、つるむらさき、モロヘイヤ、シソ、ゴマ

計22種

秋 40a

ニンニク、玉ねぎ、小松菜、水菜、コカブ

ハウレンソウ、キャベツ、茎ブロッコリー、人参、大根

計10種

結果 売り上げ 150万・・・

技術力、経験値、どれをとっても素人だと実感

1年目の夏のある日

3 : 3 0	起床。すぐに準備	1 3 : 3 0	畑にて作業
4 : 0 0	収穫	1 6 : 0 0	収穫
6 : 3 0	帰宅して朝食	1 9 : 3 0	帰宅して夕食
7 : 0 0	袋詰め	2 1 : 0 0	袋詰め
8 : 3 0	スーパーへ出荷	2 4 : 0 0	就寝
9 : 3 0	畑にて作業		
1 2 : 3 0	帰宅・昼食		

1日 16時間労働

まず3年目で500万売り上げる！
それには具体的なビジョンと計画が必須！

- ・畑は1ha以上は必要。（反収50万円）

山下農園でしっかり出来て反収100万円
未熟な技術と新規の畑ではその半分の計算で反収50万円
500万円売り上げるには1haは必要！

- ・山下農園にできて僕にできないこと

圧倒的な経験値の差と知識量→自分の労働量でカバーする
労働力（人数）の差→機械化と効率化でカバーする
信頼関係からなる売り先→高品質なもののみ出荷する

積み重ねた土づくり

学んだ土づくり

土壌分析をして**化学性**を整え
太陽エネルギー産物である様々な
地域資源（炭素）や堆肥、緑肥を
用いて自然の循環を利用して
土壌の**生物性**、**物理性**を改善する



人参栽培例











